

RX63Tグループ Renesas Peripheral Driver Library および Peripheral Driver Generator ご使用上のお願い

RX63Tグループ Renesas Peripheral Driver Library および Peripheral Driver Generator の使用上の注意事項を連絡します。

- マルチファンクションタイマパルスユニット3(MTU3)を使用する場合の注意事項

1. 該当製品

- RX63Tグループ Renesas Peripheral Driver Library V1.02以降
- Peripheral Driver Generator V.2.06以降

2. 該当マイコン

RXファミリ: RX63Tグループ (48ピンパッケージのマイコンを除く)

3. 内容

マルチファンクションタイマパルスユニット(MTU3) のカウントクロックとして "MTCLKD" または "MTCLKC" を選択し、端子機能を以下のポートに割り当てた場合、P1n端子機能制御レジスタ(P1nPFS)(n=0または1) のPSELビットに正しい値を設定することができず、"MTCLKD" または "MTCLKC" をカウントクロックとして使用することができません。

- "MTCLKD" をP10に割り当てた場合
- "MTCLKC" をP11に割り当てた場合

4. 発生条件

- Renesas Peripheral Driver Libraryの場合

R_MTU3_Set関数の第二引数に、以下の設定を行った場合、該当するカウントクロックが使用できません。

- PDL_MTU3_PIN_CLKD_P10
- PDL_MTU3_PIN_CLKC_P11

- Peripheral Driver Generatorの場合

「周辺機能別使用端子」シートの設定画面において以下の設定を行った場合、該当するカウントクロックが使用できません。

- "MTCLKD" の「使用端子」を "P10 / ALE / MTCLKD / IRQ0-DS" に設定
- "MTCLKC" の「使用端子」を "P11 / ALE / MTCLKC / IRQ1-DS" に設定

5. 回避策

MTU3の設定関数実行直後、P1n端子機能制御レジスタ(P1nPFS)(n=0または1)のPSELビットに正しい値(注)を設定するコードを追加してください。

注: P1n端子機能制御レジスタ(P1nPFS)(n=0または1)の正しい設定値の詳細に関しては、以下をご参照ください。

- RX63Tグループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編

<https://www.renesas.com/products/microcontrollers-microprocessors/rx/rx600/rx63t.html#documents>

- RX63Tグループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編の誤記修正及び追記
発行番号: TN-RX*-A086A/J

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=tnrxa086aj>

- Renesas Peripheral Driver Libraryの場合の例

"MTCLKD"および"MTCLKC"を"P10"および"P11"に設定した場合

```
-----  
R_MTU3_Set(2,  
    (PDL_MTU3_PIN_2A_PA3  
    | PDL_MTU3_PIN_2B_PA2  
    | PDL_MTU3_PIN_CLKC_P11  
    | PDL_MTU3_PIN_CLKD_P10)  
);
```

***** ここから追加 *****

```
//Disable write protect  
MPC.PWPR.BIT.BOWI = 0;  
MPC.PWPR.BIT.PFSWE = 1;  
  
//Set P10 to MTCLKD  
MPC.P10PFS.BIT.PSEL = 2;  
//Set P11 to MTCLKC  
MPC.P11PFS.BIT.PSEL = 2;  
  
//Enable write protect  
MPC.PWPR.BYTE = 0x80;
```

***** ここまで追加 *****

補足: 使用するポート(P10またはP11)に関わらず、以下のコメント下の
コードは追記が必要です。

- //Disable write protect
- //Enable write protect

上記以外のコードは、使用するポートに対応するコードを追記して
ください。

- Peripheral Driver Generatorの場合の例

"MTCLKD"および"MTCLKC" を "P10"および"P11" に設定した場合

R_PG_Timer_Set_MTU_U0_C2();

***** ここから追加 *****

```
//Set P10 to IO port  
PORT1.PMR.BIT.B0 = 0;  
//Set P11 to IO port  
PORT1.PMR.BIT.B1 = 0;
```

```
//Disable write protect  
MPC.PWPR.BIT.B0WI = 0;  
MPC.PWPR.BIT.PFSWE = 1;
```

```
//Set P10 to MTCLKD  
MPC.P10PFS.BIT.PSEL = 2;  
//Set P11 to MTCLKC  
MPC.P11PFS.BIT.PSEL = 2;
```

```
//Enable write protect  
MPC.PWPR.BYTE = 0x80;
```

```
//Set P10 to peripheral function  
PORT1.PMR.BIT.B0 = 1;  
//Set P11 to peripheral function  
PORT1.PMR.BIT.B1 = 1;
```

***** ここまで追加 *****

補足: 使用するポート(P10またはP11)に関わらず、以下のコメント下の
コードは追記が必要です。

- //Disable write protect
- //Enable write protect

上記以外のコードは、使用するポートに対応するコードを追記してください。

6. 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.